

日吉津海岸 植物観察会



日野川の源流と流域を守る会

海岸植物の特徴

- 1、水が少なく、日差しが強い場所でも生きることができて、葉が厚く表面が固いものが多い。
- 2、風が強いため背が高くならず、はうものも多い。
- 3、葉や芽が砂に埋もれても、長い地下茎が砂の中をはっているの
で、茎が伸びて葉を砂の表面に出すことができる。

砂浜の今

昔から、山地等から流れてきた土砂は川によって海に運ばれ、砂浜が作られてきました。しかし、砂浜は全国的に減ってきています。それは、以下のような理由が考えられます。

- 1、治山・治水事業による水や土砂を管理するためのダム建設によって、海に流れる土砂の量が少なくなった。
- 2、沿岸域における港湾・漁港等の建設によって、海中の流れが変わり、土砂が砂浜に運ばれなくなった。

砂浜が少なくなることは、そこでしか生きられない動植物の住みかを減らすことになり、水をきれいにする機能も低下させてしまいます。また、海水浴など私達が利用できる場所も少なくなり、白砂青松が消え、海岸線が人工化する等、海岸景観を大きく変えてしまいます。山と海は、川によって繋がっているのです。



①コウボウムギ (カヤツリグサ科)



④ネコノシタ (キク科) 花期7月～10月



②コマツヨイグサ (アカバナ科) 花期 7～8月



⑤タイトゴメ (ベンケイソウ科) 花期5月～7月



③ハマゴウ (アオイ科)



⑥カワヨモギ (キク科)

